

授業科目名	【Gカリキュラム】 教養演習Ⅰ・Ⅱ ※本年度は開講せず 【EFカリキュラム】 教養演習Ⅰ・Ⅱ	選択履修	開講年次	【G】2 【EF】2	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	基本科目／【G】教科及び教科の指導法に関する科目（-・-・-・-）／【EF】教科及び教科の指導法に関する科目（-・-・-・-）					
担当形態	単独	【G】教員の免許状取得のための（-・-・-・-）科目 【EF】教員の免許状取得のための（-・-・-・-）科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	人口問題		担当者	渡辺 克博		
授業概要	<p>【概要】</p> <p>2050年になると、世界人口は約100億人近くになると予想されている。その時、エネルギー問題、食糧問題、環境問題はどのようになるのか？各種の統計資料を用いて考察を進める。</p> <p>【到達目標】</p> <p>人口が抱える諸問題の解決の糸口を見出す。</p>					
履修条件	なし					
教科書・参考書	<p>【教科書】</p> <p>なし</p> <p>【参考書】</p>					
授業回数	授業内容					
授業内容	<p>日本における過去から将来の人口問題についての考察。人口増加数が最も多いアジアの人口問題についての考察。人口増加率が最も高いアフリカの人口問題についての考察。さらにその他の国及び地域の人口問題についての考察。</p> <p>前期は、高齢化率が最も高い日本の少子高齢化について取り組んでいく。この問題に対する国の取り組み及び地方自治体の取り組みについて、統計資料を示して論を進める。また都道府県別にその特徴をも考察する。</p> <p>後期は、諸外国の少子高齢化についても論を進める。とりわけ人口が多いアジアの人口問題についても考える。また前期、後期に関わりなく、人口に関する問題提起があった場合には、その事項について時間を費やしたい。</p>					
予習復習内容	統計資料の事前配布による予習と授業後の確認。					
評価方法	レポート及び受講態度(評価の配分はレポート70%、受講態度30%)					
評価基準	上記授業単元の内容について、これをよく理解した者には「A」を与える。またその理解の程度に応じて「B」または「C」とし、その理解が不十分であると思われる者には、その程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	<p>特になし</p> <p>※Gカ：法【Ⅰは選択必修(A)・Ⅱは選択必修(B)】ホ°【Ⅰは選択必修(A)・Ⅱは選択必修(B)】情【Ⅰは選択必修(A)・Ⅱは選択必修(B)】／EFカ：法【選択必修(γ)】ホ°【選択必修(γ)】経【選択必修(γ)】</p>					